

2024

近畿双松会報

—令和6(2024)年度—

(旧)島根県立松江中学校

島根県立松江高等学校

島根県立松江北高等学校

目次

令和6(2024)年度 「役員会」「総会・講演会・懇親会」報告	……01
講演要旨	……04
総会写真	……05
次第・出席者名簿	……09
令和6(2024)年度 事業報告・令和5(2023)年度 会計報告	……10
令和6(2024)年度 諸行事報告	……11
役員名簿	……13
運営費支援・寄付 ご協力者ご芳名	……14

■近畿双松会の歴史■

近畿双松会の創設は大正末期にも遡ると言われ、以来、近畿在住の旧制松江中学校卒業生有志により毎年会合を催し親睦がはかれてきました。戦争により活動は一時中断されましたが、昭和 33(1958)年に再設立され、その後、新制の松江高等学校・後継の松江北高等学校卒業生の同窓会と統合しました。

■令和6(2024)年度「役員会」報告

- ・日時／令和6(2024)年4月13日(土)11:00～14:30
- ・会場／中央電気倶楽部

会則第8条により役員会を開催し、本年度の運営方針について意見交換し、了承されました。

●令和5年度の総括

- ①設立65周年総会を実施、参加者103名
- ②諸行事の実施(落語37名、文楽25名、ハイキング22名、宝塚歌劇は見送り)
- ③設立65周年記念会報発刊(昨年に引き続き編集の内製化、ネット印刷によりコストダウン)

●令和6年度の活動

- ①総会・講演会・懇親会は11月30日(土)「中央電気倶楽部」で開催
- ②講演会講師は徳田完二会長
- ③会報に関しては最終的にはHPに一本化する方向で取り組む

参加役員は下記の21名(敬称略)

【常任顧問】山本雅昭(7) 押田良樹(11) 松本耕司(16)
【顧問】松本潤(23) 【会長】徳田完二(24) 【副会長】山口紀子(23) 松村聡(26 理5) 野口博也(27) 宍道弘志(31) 【常任幹事】金坂喜好(15) 岩田一志(19) 山崎麻里子(20) 村田貢(22) 松本幸子(23) 富岡幸子(35) 【幹事】逸見充宏(9) 面白紘(10) 田中一男(11) 池田喜美代(19) 中倉行彦(31) 今宮一正(36)



■令和6(2024)年度「総会・講演会・懇親会」報告

- ・日時／令和6(2024)年11月30日(土)11:30～15:30
- ・会場／中央電気倶楽部 5Fホール

当日は好天に恵まれ、ご来賓を含め68人の会員が出席しました。(9頁に出席者名簿を掲載)

第一部「総会」は山口紀子副会長(23)の司会で始まり、物故者黙祷の後、徳田完二会長(24)の開会のご挨拶がありました。続いて、ご来賓の双松会の櫻井誠己会長(20)、島根県立松江北高の伊藤康子校長からご挨拶をいただきました。(3頁に掲載)

徳田会長が議長となって総会議事に移り、まず宍道弘志事務局長(31)からこの1年間の活動報告があり、続いて会計報告と、周藤達夫監事(26)による監査報告があり、承認されました。(10頁参照)

続いて、役員異動として、顧問の梅木隆氏(16)のご逝去、常任幹事の少数賀健二氏(20)の辞任が承認されました。(13頁に役員一覧を掲載)

以上で第一部が終了しました。

第二部「講演会」は、徳田会長が講師となり、「カウンセリングとは何か? 一人間関係を考えるヒント」の演題で講演されました。

徳田会長はご自分の教育学研究科への進学の間経緯や個人的体験を交え、カウンセリングとはどういうものかについてお話をされました。(4頁に講演要旨を掲載)

第三部「懇親会」は13:15から宍道事務局長の司会で開始されました。

最初に、あらためてご来賓の方々の紹介があり、続いて、双松会副幹事長の糸川孝一氏(31)のご発声による乾杯がありました。

暫し歓談の後、司会が野口博也副会長(27)に交代し、今回初めて総会に参加された5人の方(寄神道子さん(15)、岩田邦雄さん(22)、吉賀由紀子さん(24)、山崎尚美さん(26)、檜原順子さん(35))の紹介がありました。来賓の竹谷奨近畿松江会副会長兼事務局長より、来

年の近畿島根県人会(11月8日(土)予定)の持ち回り幹事を松江市、安来市、奥出雲町が引き受けることから、協力の依頼がありました。また、近畿安来会会長を務める松本潤顧問(23)からは、近畿島根県人会とは別に、近畿安来会の活動の様子と、11月初旬松江で行われた高23期の古希記念全体同窓会の模様や、来年に予定されている大阪での同窓会のことが披露されました。

続いて、ご来賓の森岡正士東京双松会事務局長(31)から、来年11月に第70回の記念総会を迎える東京双松会では、講演会の講師を小泉凡さんをお願いしたところ、快諾を得たことが報告されました。「バケバケ」の放映開始直後でもあり、大いに期待をしているとのことでした。

書籍販売の担当者、山寄麻里子常任幹事(20)からは、松江の文化情報誌「湖都松江」の紹介があり、最新号である48号の「小泉八雲没後120周年記念〈新作怪談〉」に選ばれた作品のうちの一つが紹介されました。昭和30年5月に起きた紫雲丸事故に遭った川津小学校の先生の話だそうです。

今西亜子幹事(43)からは、来年5月18日(日)開催予定の宝塚歌劇鑑賞会の案内がありました。ご希望の方は今西さん迄声をかけてほしいとのことでした。

今回、出席記念のお土産として全員に贈られた「ウタマロクリーナー」の提供元である松村聡副会長(26理5)からは、賞品の説明と取り扱いについての注意事項の話がありました。松村さん、大変ありがとうございました。

松本耕司常任顧問(16)からは、母校北高のホームページについて、特に部活動の様子が克明に紹介されるようになったと、伊藤校長への謝意が伝えられました。伊藤校長からは、早速月曜日の職員朝礼で報告をするとのことがありました。

やがて予定の時刻になり、校歌「山脈浮かびて」を全員で斉唱し、そのあと万歳三唱の当番期である17期の、小脇光男さん、永井貞泰さん、岡久夫常任幹事が壇上に上がりました。それぞれから思い出話、近況報告があり、岡常任幹事の発声による万歳三唱で、楽しかった懇親会も終了となりました。



乾杯 双松会・糸川副幹事長



近畿松江会・竹谷事務局長、松本顧問、松本常任顧問



東京双松会・森岡事務局長



万歳三唱 17期・岡常任幹事、小脇さん、永井さん

近畿双松会 徳田完二会長(24)挨拶要旨

本日は本当によろしくご来場いただき、誠にありがとうございました。と申しますのも当初、今回の参加者は30数名という情報があり、大変懸念していたのですが、その後申し込みが増え最終的に68名になりました。この数字で満足しているわけではありませんが、現在の私の気持ちとしては、先日の選挙で議席を増やした野党党首のような気がします。

会長を引き受けましてから早くも1年が経過しました。会長になってから総会以外の行事にも参加するように努めております。近畿双松会は総会だけではなく各種の行事を含めたものです。またHPの活性化を考え月に一度ミニエッセイを投稿しております。HPはどれくらい読まれているのか調べてみましたら、半年で約1800件、月300件、一日10件で、予想したより多くのアクセスがあることが分かりました。今後、さらに一層読まれるようになることを期待しております。役員・事務局の負担軽減という点で、非常に便利に感じているLINEの機能を使えないものかと考えております。

総会出席者の増加という点に関して何か良い案がありましたらどうぞお聞かせいただきたいと思います。



双松会 櫻井誠己会長(20)挨拶要旨

昨年も出席させていただきましたが、改めてどうぞよろしくお願い申し上げます。

再来年は母校が明治9年の創立から数えて150年になります。半世紀ごとの節目として、再来年10月頃、記念式典、記念行事を行うことを計画し準備をしております。記念行事は在校生の活躍につながるものであることを大切に考え検討をしておりますが、皆様方にもご参加、ご協力をお願いすることになるかと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

現在松江では、来年秋放映のNHK大阪局制作の朝ドラ「バケバケ」が話題を呼んでおります。昨年の当会の講演講師を務められた小泉凡さんの曾祖母に当たる小泉セツさんを主人公にしたドラマです。松江中学や西田千太郎先生の登場する場面も多いと思われます。セツと八雲役の俳優も決まり、母校にはプロデューサーや関係者が訪問して打ち合わせなどもされており、世間が賑わっている状態です。どうぞ楽しみにしていただきたいと思います。



松江北高 伊藤康子校長挨拶要旨

PC画像を使って現在の北高の様子を説明されました。

1. 学校の規模 クラス数21(各年普通科6、理数科1)
生徒数770名 職員数106名(教員76、事務等30)
2. 部活動
運動部:令和6年度インターハイ出場 陸上部、女子登山部、女子ボート部
文化部:令和6年度全国総文祭参加 写真部、放送部、美術部、箏曲部、自然科学部、囲碁将棋部、百人一首かるた部
3. 部活動以外の活動(新聞で取り上げ) シジミ絵具、投資ゲーム、生物オリンピック銀メダル
4. 双松会からの支援例 社会人講話、「世界の人たれ」講演会、ウェビナー
5. 起雲館の雨漏り被害(1月)と150周年行事について



〔講演要旨〕

カウンセリングとは何か 人間関係を考えるヒント

近畿双松会会長・立命館大学名誉教授 徳田完二

私は24期で、昭和45年(1970年)、北高に入学した。将来やりたいことが思い浮かばなかったのも、「つぶしがきく」と言われる法学部にとりあえず入ったが、ある時から「人の心について勉強したい」という思いを抱くようになった。その後、京大の教育学部で「臨床心理学」というものを学べるようになったので、北高の補習科に入り、再受験をした。京大に入り、臨床心理学はとても面白いと思ったので、大学院に進んだ。その後は4つの大学で教員を務めた。大学教員生活の前半は「学生相談」(学生のカウンセリング)が主たる業務であり、後半は臨床心理学専攻の学生・院生を指導する仕事を中心になった。

この講演のねらいは、カウンセリングの概略を話し、カウンセリングというのはこういうものらしいと知っていただくことである。また、その話の中に、みなさんの日常生活に役立ちそうなもの、人との関係や自分自身をあらためて振り返るヒントになりそうなものを盛り込むことである。

「カウンセラーの主な仕事は助言や指導をすることだ」と思っている人が少なくないようだが、実はカウンセラーの中心的な役割は助言ではない。アメリカの心理学者ロジャーズは、カウンセリングの正否を決めるのはカウンセラーの助言ではなく、クライアント(カウンセリングを受けに来る人)に対するカウンセラーの態度や姿勢であると考えた。そして、特に重要な態度や姿勢として「共感的理解」「受容」「自己一致」の3つを抽出した。共感的理解とは「その人はこんな風に感じていると理解すること」である。受容とは「受け入れる」ということだが、「むやみに批判しないこと、けちをつけないこと」と考える方がわかりやすいだろう。自己一致とは「裏表がない。考えていることや感じていることと言動が一致している」ということである。

これらの態度や姿勢がどのように働くのかについてはロジャーズ自身が語っている言葉を紹介しよう。「クライアントは、自分の意味するところを理解されたと感じますと、自分に耳を傾け、自分の経験の中で進行しつつあることや、前には理解できなかった意味に耳を傾けるようになります。カウンセラーに大切にされていると感じますと、自分で自分を大切にようになります。カウンセ

ラーに真実を感じますと、自分自身に対しても、少しでもより真実になることができるようになります。自己否定から自己受容に移り、自分の外にある評価基準に頼っていたクライアントは、自分の中の判断力や決断力を信頼する方向に変わっていくのです”

上の言葉は、カウンセラーのクライアントに対する態度や姿勢がクライアントの自分自身に対する態度や姿勢に影響することを意味している。このことはカウンセリングに限らずさまざまな人間関係について考える上でのヒントになるだろう。



北高時代

カウンセリングの基本的な考え方

助言型から別のカウンセリングへ

ロジャーズの3条件

共感的理解
受容
(自己) 一致

ロジャーズの3条件の機能

カウンセラー クライアント

共感的理解		自己理解
受容	→	自己受容
自己一致		自己一致

カウンセリングのプロセス

悩み → 傾聴 → 理解・受容
↓
【内省】自分の考え方や気持ちの確認・気づき
↓
考え方や気持ちの変化 (→行動の変化)
↓
悩みの解消

講演スライドより



出席者全員の記念撮影

各テーブルでの記念撮影



Aテーブル
6、7、9、10期



Bテーブル
ご来賓、徳田会長



Cテーブル
11、13、18 期



Dテーブル
14、15 期



Eテーブル
16、17 期



Fテーブル
19、20、22 期



Gテーブル
23、24 期



Hテーブル
26 期

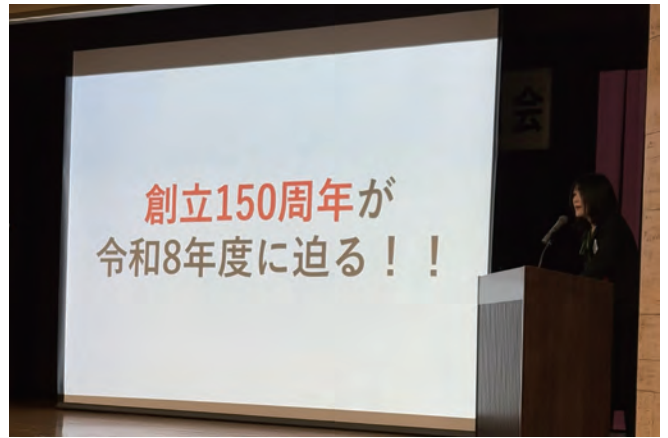


Iテーブル
27、31、43 期



Jテーブル
35、36 期

スナップ写真



令和6(2024)年度近畿双松会「総会・講演会・懇親会」

2024年11月30日(土)、中央電気倶楽部5Fホール

次 第

◆第一部「令和6年度総会」(11時半～12時) 司会 山口紀子 副会長(23)

1. 開会の辞
2. 物故者黙祷
3. ご挨拶 近畿双松会 徳田完二 会長(24)
4. 来賓ご挨拶 双松会 櫻井誠己 会長(20) 島根県立松江北高等学校 伊藤康子 校長
5. 議長の選任
6. 議事: (1) 活動報告・会計報告 宍道弘志 副会長・事務局長(31)
(2) 監査報告 周藤達夫 監事(26) (報告) 役員の異動
7. 閉会の辞

◆第二部「講演会」(12時～12時45分)

- ・演題:「カウンセリングとは何か? 一人間関係を考えるヒント」
- ・講師:徳田完二 氏(近畿双松会会長 立命館大学名誉教授)
(略歴:松江北高校24期。京都大学教育学部、教育学研究科を経て、広島大学助手、北海道教育大学講師、
同助教授、北海道浅井学園大学教授、立命館大学教授を歴任。現在、立命館大学名誉教授。臨床心理士)
- <休憩(10分)>

◆第三部「懇親会」(12時55分～15時半) 司会 野口博也 副会長(27) 宍道弘志 副会長・事務局長(31)

1. 開会の辞
2. ご来賓・講師紹介
3. 乾杯(音頭):双松会 糸川孝一 副幹事長(高31)
4. 会食・懇親・スピーチ
5. 校歌斉唱(全曲):山脈浮かびて
6. 万歳三唱(発声):本年度当番:17期
7. 全員集合記念写真撮影
8. 閉会の辞

出 席 者 名 簿

ご来賓

卒業期	氏	名	
高20	櫻井	誠己	双松会会長
高31	糸川	孝一	双松会副幹事長(大津小・益田東中、合唱部)
浜田高校	伊藤	康子	松江北高校校長
高31	森岡	正士	東京双松会事務局長
松江高専	竹谷	奨	近畿松江会副会長・事務局長(八束小・八束中)

会員

卒業期	氏	名	旧姓	卒業期	氏	名	旧姓	卒業期	氏	名	旧姓
高6	田村	稔久		高17	岡	久夫		高26	岩谷	智志	
高6	石原	綏子	河津	高17	小脇	光男		高26	加藤	茂樹	
高7	山本	雅昭		高17	永井	貞泰		高26	川谷	徳彦	
高9	田中	英明	小立	高18	小田	一美		高26	周藤	達夫	
高9	逸見	充宏		高18	桑原	勇		高26	福岡	則博	
高10	面白	紘		高19	元栄	徹	成相	高26	井山	裕子	
高11	押田	良樹		高19	池田	喜美代	川原	高26	矢野	美紀子	難波
高11	志賀	潔		高20	物種	慶子	北脇	高26	山崎	尚美	
高11	田中	一男		高20	山寄	麻里子	木村	高26・理5	松村	聡	
高13	藤田	トク子	小笹	高22	岩田	邦雄		高27	野口	博也	
高13	山下	俱子	今井	高22	村田	貢		高27	木田	京子	能海
高14	加藤	巡一		高22	西村	紀子	松本	高27	新宮	富美子	新川
高14	木村	修芳		高23	朝比奈	博則		高31	宍道	弘志	
高14	小泉	勝是		高23	松本	潤		高31・理10	中倉	行彦	
高14	木幡	晃正		高23	西村	充子	平野	高35	富岡	幸子	三和
高15	金坂	喜好		高23	松本	幸子		高35	檜原	順子	目次
高15	真庭	功		高23	山口	紀子	宮崎	高36	今宮	一正	
高15	寄神	道子	生越	高24	伊藤	澄夫		高36	杉本	淳	平江
高16	佐々木	康雄		高24	徳田	完二		高36	高野	直樹	
高16	松本	耕司		高24	小川	ひとみ	堀江	高36	森口	次郎	
高16	森藤	哲章		高24	吉賀	由紀子	古川	高43・理22	今西	亜子	井山

令和6(2024)年度 活動事業報告

4月	1日	月	令和6年度事業・会計開始
	13日	土	令和6年度役員会開催（参加21名）
	21日	日	令和5年度「設立65周年記念会報」と新年度事業のお知らせ発送
7月	23日	日	第17回文楽鑑賞会（参加18名、於：国立文楽劇場）
8月	18日	日	総会開催に向けて事務局会議を開催
10月	6日	日	総会開催案内発送
	22日	日	新ハイキング「紫式部ゆかりの石山寺」（参加10名）
11月	23日	土	総会開催直前事務局打ち合わせ会議開催
	30日	土	令和6年度「総会・講演会・懇親会」 （於：中央電気倶楽部、参加者はご来賓含め68名） ・講演：徳田完二氏 近畿双松会会長、立命館大学名誉教授 演題：「カウンセリングとは何か？ 一人間関係を考えるヒントー」
3月	30日		第14回落語鑑賞会（於：天満天神繁昌亭）（参加21名）
			令和6年度会計年度終了

令和5(2023)年度 会計決算書

収入の部		支出の部	
前期繰越金	1,811,840	支出計	1,941,427
収入計 令和5年度運営費支援収入 同、寄付・広告収入 令和5年度総会参加費 令和5年度諸行事参加費収入 令和5年度役員会参加費 利子収入	1,858,500	通信費	270,346
	520,000	印刷費	29,526
	316,000	事務費	173,327
	809,200	郵便、銀行手数料等	28,477
	129,300	令和6年度総会費	827,602
	84,000	同 福引費	362,935
	0	令和5年度諸行事支払い	130,000
		令和5年度役員会会議費	119,214
		次期繰越金	1,728,913
		郵便貯金振替残	1,508,811
		郵便貯金	200,267
		現金	19,835
総合計	3,670,340	総合計	3,670,340

繰越金前年比

▲ 82927

■諸行事報告

第13回落語鑑賞会

- ・日時／令和6(2024)年3月31日(日)13:30～16:10
- ・会場／天満天神繁盛亭
- ・桂米輝 第18回繁昌亭大賞新人賞受賞記念ウィーク

松江南高出身の桂弥っこさんから始まり、若手、中堅、老練の噺家が熱演、漫才もあり楽しいひと時でした。

落語鑑賞会にご参加してくださった32名の皆様、ありがとうございました。4年ぶりに開催した昨年の第12回から落語担当をしております23期松本幸子です。

今回も、幸運にめぐまれて「桂米輝 第18回繁昌亭大賞新人賞受賞記念ウィーク」の千秋楽で、口上も聴くことができました。

私に届いた落語鑑賞会の一言感想をご紹介します。

- ・今回も、全体的に面白かった。
- ・米二さんが良かった。
- ・米紫さん、すごい勢いがあつた。
- ・いつもは落語を聴くと眠くなるが、今日はずっと起きてた。
- ・落語を聴いて、気持ちが明るくなった。
- ・笑った！ 笑いに(落語鑑賞会に)来る。

皆様、また、来年、お会いしましょう！

お待ちしております！ (松本幸子(23))



参加者(敬称略)

押田良樹(11)、安部正毅(13)&家族、小泉勝是(14)、三好洋二(14)&家族、佐々木康雄(16)、松本 耕司(16)&家族、森藤哲章(16)、三好資子(20)&家族、山寄麻里子(20)、佐野和子(20)&友人、鶴羽孝子(22)、朝比奈博則(23)、小松久美子(23)、橘千里(23)、西

村充子(23)、松本幸子(23)、松本潤(23)、山口紀子(23)、葭田久美子(23)、伊藤澄夫(24)、徳田完二(24)、宍道弘志(31)&家族、近畿松江会会員4名

第17回 文楽鑑賞会

- ・日時／令和6(2024)年7月21日(日)
- ・会場／国立文楽劇場
- ・演目／ 生写朝顔話

今年度の文楽鑑賞会は近畿の梅雨明けが発表された猛暑の日だった。

演目の『生写朝顔話(しょううつしあさがおばなし)』は武士の娘の悲恋をテーマにしたもので、一目惚れした武士の行方を追い、これでもかこれでもかというほどの艱難辛苦を潜り抜ける悲劇である。

実は、わたしにとって初めての文楽鑑賞経験だった。文楽には漠然としたイメージしかなかったが、実際に劇場で見て、興味深いと思った点や意外だった点がいくつかあった。

まず、独特の節回しをする太夫の語りを聞き取れるかどうか心配だったが、舞台の上のところに「字幕」が出てくるようになっていたので、難なく理解できた。何と言っているのかを聞き取ろうと神経をとがらせる必要もなく、気楽に楽しむことができた。人形が演じ、大夫が説明や登場人物のセリフを語る形式は、弁士つきの活動写真と似た構造だと思った。また、大夫の語りにはとても感情が込められていて、表情も実に豊かであり、口で演じるというよりも首から上全体で熱演しているという感じがした。それは、人形の顔が固定されていて比較的無表情に見えるのと対照的だった。そして人形の方は、顔よりもしぐさや動作によって感情を豊かに表しているというのが印象的だった。とくに女性が泣き崩れる場面などはいかにも文楽らしいと思った。

意外だったことの一つは、セリフや動作で観客の笑いをとるような登場人物がいたこと。わたしには、文楽というのは深刻な場面ばかりで構成されているのだろうという先入観があったからである。

今回の演目は、10分ずつ2回の休憩を含め全体で4時間もかかった。映画なら2本くらい見た勘定になるが、それほど長く感じなかった。その理由は、映画やドラマ

にありがちな、筋を説明するために置かれるような部分がなく、見せ場ばかりで構成されていたからだろうと思った。

近畿双松会の行事であるため、団体割引料金で見られたのもありがたかった。文楽未見の方には、ぜひ一度ご参加するようお勧めしたい。 (徳田完二(24))



参加者(敬称略)

押田良樹(11)、加藤巡一(14)&家族、松本耕司(16)、鶴羽孝子(22)、小松久美子(23)、西村充子(23)、松本幸子(23)、山口紀子(23)、葭田久美子(23)、徳田完二(24)、小林宏・小林京子(25)・宍道弘志(31)&家族、橋本充男&家族(ゲスト)、松岡茂(ゲスト)

新ハイキング～紫式部ゆかりの石山寺～

・日時／令和6(2024)年 10 月 20 日(日)

・場所／石山寺(大津市)

今年のハイキングも青空が広がる爽やかな気持ちのよいお天気となりました。10 時 30 分、京阪石山寺駅前に集合しハイキングのスタートです。

観光ボランティアさんはベテランの方で、その説明には皆お話に引き込まれ「なるほど」と肯くことばかりの楽しい一日となりました。

国宝の本堂。

御本尊如意輪観音菩薩は日本で唯一の勅封(勅命によって封印すること。扉に錠をかけて麻縄でしばり、結び目を天皇自署の紙で封じる。開閉には勅使が参向する)。33 年に一度、または新天皇即位の翌年にのみ開かれます。令和の時の勅使は三笠宮彬子様だっ

たそうです。

またここで「裏菊花紋」の模様を初めて見る事ができました。お供えが特徴的で「貼仏供(はりぶつ)」と言われる干菓子を貼り付けたお供え物、それ以外にもキャベツやジャガイモを丸ごとのお供えしてある三宝、細長い紅白の乾燥寒天を串に刺した物など興味深かったです。ここでは写真撮影ははばかられ撮りませんでした。石山寺の HP に詳しく載っていますのでそちらをご覧ください。

源頼朝の寄進

多宝塔は日本三大多宝塔のひとつで最古最美。最美と言われるにふさわしいと思いました。本尊は快慶作の大日如来(重要文化財)。

鐘楼も頼朝の寄進。石山寺では大みそかではなく元旦午後 2 時につくそうです。

豊浄殿では紫式部が実際に使ったという硯を見て、光堂、紫式部像、密蔵院(島崎藤村がしばらく住んだ家)と次々と進みました。

お約束の時間は 1 時間 30 分でしたが終わってみれば 3 時間弱が経っていました。熱心に説明してくださりありがたいことでした。 (山口紀子(23))



参加者(敬称略)

田中英明(9)、佐々木悦子(9)、三島幸子(14)、森藤哲章(16)&家族、朝比奈博則(23)、西村充子(23)、山口紀子(23)、宍道弘志(31)&家族

令和6年度 近畿双松会役員

2024/11/30総会現在

(役)	(期)	(氏名)	(役)	(期)	(氏名)
常任顧問	高7	山本 雅昭	常任幹事	高18	小田 一美
常任顧問	高11	押田 良樹	常任幹事	高19	岩田 一志
常任顧問	高16	松本 耕司	幹事	高19	池田 喜美代
			常任幹事	高20	山寄 麻里子
顧問	高23	松本 潤	常任幹事	高22	村田 貢
			幹事	高22	内藤 善夫
会長	高24	徳田 完二	常任幹事	高22	大浦 綾子
			常任幹事	高23	松本 幸子
副会長	高23	山口 紀子	幹事	高24・理3	岩間 令道
副会長	高26・理5	松村 聡	幹事	高24	伊藤 澄夫
副会長	高27	野口 博也	幹事	高25	小林 宏
副会長兼・事務局長	高31	宍道 弘志	幹事	高27	新宮 富美子
			幹事	高29	山本 修司
監事	高22	鶴羽 孝子	幹事	高30・理9	千葉 潮
監事	高26	周藤 達夫	幹事	高31	小林 満
			幹事	高31・理10	中倉 行彦
幹事	高1	荻田 運三郎	常任幹事	高32	浅沼 吉正
幹事	高2	堀江 眞三人	常任幹事	高32	木村 滋樹
常任幹事	高5	山田 稔	幹事	高32	田黒 公司
幹事	高6	田村 稔久	幹事	高33	柳井 利明
幹事	高9	逸見 充宏	常任幹事	高35	富岡 幸子
幹事	高10	面白 紘	幹事	高36	森口 次郎
幹事	高11	田中 一男	幹事	高36	今宮 一正
幹事	高13	永江 幹雄	幹事	高38	長谷川 浩之
常任幹事	高14	加藤 巡一	幹事	高40	福江 直広
常任幹事	高15	金坂 喜好	幹事	高42	三好 博子
常任幹事	高16	土田 和男	常任幹事	高43	安達 宏昭
幹事	高16	三成 宏二	幹事	高43・理22	今西 亜子
常任幹事	高17	岡 久夫			

以上 52名

※なお、下記の3名の方に友誼団体「近畿松江会」の「近畿双松会推薦幹事」を委嘱。

松本幸子常任幹事(23)、宍道弘志事務局長(31)、木村滋樹常任幹事(32)

■ご逝去

顧問	高16	梅木 隆志
----	-----	-------

■辞任

常任幹事	高20	小数賀 健二
------	-----	--------

令和6(2024)年度「運営費支援、寄付」ご協力者ご芳名（敬称略）

近畿双松会は有志の皆様のご支援により運営しています。ここにお名前を記して御礼に
代えさせていただきます。（令和7年3月現在）

中68期 荒銀 昌治	高12期 加納 征男 萩野 貫悟 森 倫也	高18期 石賀誠一郎 太田 善博 小田 一美 桑原 勇 齋藤 正治 稲生 喜子 白神知都子	柴山 佳久 松本 潤 和田 邦孝 今西 桂子 扇 澄美子 小松久美子 橘 千里 西村 充子 松本 幸子 山口 紀子 吉岡 恵子 葭田久美子 渡辺 都	高28・理7期 南目 益男 内山まゆみ
高1期 伊藤 雅義				高29・理8期 石橋 敏幸 福本秀一 山本 修司 原田理津子
高3期 小川 伸江	高13期 今井 勝治 斉藤 祐子 藤田トク子 水野 明代 山下 俱子			
高5期 板垣 衛武 山根 徹 成田 良美		高19期 岩田 一志 新見 泰朗 槇原 隆 万波 迪義 元栄 徹 池田喜美代 江守久美子 大久保章子		高31・理10期 小林 満 宍道 弘志 富永 浩 中倉 行彦 井川 恵理 稲葉 育子 田頭 由美
高6期 荻野 克彦 田村 稔久 荒木タミ子 石原 綏子	高14期 加藤 巡一 川上 克彦 木村 修芳 小泉 勝是 木幡 晃正 古川 幸孝 宮原 琢郎 三好 洋二 齋藤 丸子 三島 幸子 矢野 達枝		高24・理3期 安部 尚人 伊藤 澄夫 岩間 令道 徳田 完二 井田祐見子 小川ひとみ 瀬戸口二三子 西田 悦子 水野 順子 吉賀由紀子	高32・理13期 木村 滋樹 田黒 公司
高7期 青戸 俊夫 廣政 俣彦 山本 雅昭		高20期 小数賀健二 渡辺 悟 佐野 和子 平田 まり 三好 資子 物種 慶子 山寄麻里子		高33・理12期 松本 慶太 柳井 利明
高8期 黒田 牧夫				高34・理13期 國清 辰也 田中 修一
高9期 坂本 隆男 田中 英明 伴 稔也 逸見 充宏 安部 裕子 木村八重子 佐々木悦子 佐藤早智子	高15期 金坂 喜好 真庭 功 寄神 道子	高21期 花田 幸久 野津 一雄 竹添 則子	高25・理4期 飯石 浩康 今井 京子 川上 史枝	高35・理16期 富岡 幸子
高10期 面白 紘 佐和田 丸 清水 義男 清水小枝子	高16期 井上 伸久 梅木 隆志 神田 俊之 佐々木康雄 松本 耕司 森藤 哲章 田中由美子 中安 節子	高22・理1期 石川 章 岩田 邦雄 内藤 清志 内藤 善夫 永瀬光一郎 村田 貢 大浦 綾子 加茂 富美子 木山 洋子 鶴羽 孝子 西村 紀子 松下 和子	高26・理5期 伊藤 博之 加藤 茂樹 川谷 徳彦 周藤 達夫 福島 倫之 福岡 則博 松村 聡 安井 伸彦 井山 裕子 矢野美紀子 前羽 香江	高36・理15期 今宮 一正 杉本 淳 高野 直樹 森口 次郎
高11期 押田 良樹 小久江良雄 志賀 潔 田中 一男 湯川 好満 鈴木 洋子 田村 廸子 中尾 長子	高17期 岡 久夫 後藤 研三 小脇 光男 永井 貞泰 岩本眞左子 木島 光子 西野やよい	高23・理2期 朝比奈博則 近藤 文雄	高27・理6期 野口 博也 木田 京子 新宮富美子 投石 史子 松田 稚子	高38・理17期 長谷川浩之 高43・理22期 安達 宏昭 今西 亜子 柳田 尚美 高44・理23期 渡邊 知朗 高48・理27期 森内 由香
(ご不審の点は事務局までご確認ください)				182名 (昨年174名)



双松(2025年2月撮影)

この会報を入手ご希望の場合、またご質問は下記専用アドレスまでご連絡ください。
メールマガジンの受信希望、LINE@の登録についてのご質問もこちらまでどうぞ。

また、メールアドレスの登録もぜひお願いします。

近畿双松会専用アドレス:master@kinki-soushoukai.org



ホームページ



メールマガジン



LINE@

近畿双松会報

令和6(2024)年度版

通巻 66 号

発行日／令和7(2025)年3月31日

発行者／近畿双松会:ホームページ／kinki-soushoukai.org

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-21-35

(株)トーヨーコーポレーション内

TEL.06-6443-2062 FAX.06-6443-9736

郵便振替口座／00910-0-103665 近畿双松会